

第125期 中間

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

クボタ通信



株式会社クボタ

株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成26年7月に、代表取締役社長に就任しました木股昌俊です。クボタ通信(第125期中間)をお届けするに当たり、ご挨拶を申し上げます。

当上半期(平成26年4月1日～平成26年9月30日)のクボタグループの業績につきましては、売上高は、前年同期比160億円(2.2%)増加して7,451億円となりました。国内売上高は、水・環境、その他部門で増収となりましたが、機械部門の減収により、287億円(10.2%)減の2,537億円となりました。海外売上高は、北米、欧州の増販に加え為替改善の影響もあり機械部門が増収となったほか、水・環境部門も増加し、全体では447億円(10.0%)増の4,914億円となりました。

営業利益は、国内およびアジアの売上減少による減益要因を、北米、欧州の増収効果や為替の改善などで補い、前年同期比ほぼ横ばいの1,002億円となりました。税金等調整前純利益は、有価証券売却益の減少により、24億円(2.3%)減少の1,036億円となりました。法人所得税は335億円の負担となり、非支配持分控除前純利益は13億円(1.7%)減少の713億円となりました。当社株主に帰属する純利益は、前年同期を13億円(1.9%)下回る661億円となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

代表取締役社長

木股昌俊

取締役会メンバー ※社外取締役



布野 幸利* 小川 謙四郎 久保 俊裕 木股 昌俊 木村 茂 北尾 裕一 松田 謙*

中間配当金のお知らせ

- 1 中間配当金
1株につき12円
(総額15,001,385,076円)
- 2 中間配当金の基準日
平成26年9月30日
- 3 支払開始日
平成26年12月1日(月曜日)

トップメッセージ

平成26年6月に益本康男・前代表取締役会長兼社長が急逝したことを受け、同7月に代表取締役社長に就任致しました。前社長は、「変化すること、すなわち現状に安住せず、新しいことに果敢にチャレンジし、グローバル化を加速することがクボタの生命線だ」と繰り返し言い続けておりました。私は、会社の未来や事業の夢を語り、その実現に向けてひたむきに走り続けた前社長の遺志を胸に、『食料・水・環境』分野のグローバル市場で、存在感のある企業グループをめざしてまいります。

2014年度経営方針の継承

私は、期初に策定した経営方針および以下3つの重点施策を継承し、引き続き展開していきます。

- ①戦略市場での事業展開の加速
- ②グローバル事業運営体制の強化
- ③水・環境事業の再構築



新しい経営体制について

私は、『トップ自らによる直接“統治”』という形式を維持し、掲げた目標を確実に達成してまいります。社長を頂点とした取締役をはじめとする経営幹部による合議を通じて、経営幹部の意見を十分に汲み上げ、議論を重ねた上で、意思決定していきます。一方で、これまで強調してきた『経営のスピードアップ』や『トップダウンの徹底』などの精神はしっかりと継承し、決定したことは迅速かつ強力に推進します。私を含む経営幹部自身が、スピード感をもって“率先垂範”していきます。

「現場」を重視した経営をめざす

私はこれまで、国内外の生産、販売および調達部門を歴任してきました。それらの現場の苦労を理解し、現場で起こりうる問題・課題も熟知しているつもりです。『モノづくりに軸足を置いた現場重視』を全面的に踏襲した上で、研究開発・モノづくり・マーケティングなど、モノづくりの現場にとどまらない現場のあるべき姿を追求します。メーカーの真髄ともいえるこれら領域の足元を強固なものにして、事業の拡大を図っていきます。その上で、グローバル市場における事業成長のスピードをさらに加速させてまいります。

事業の概況

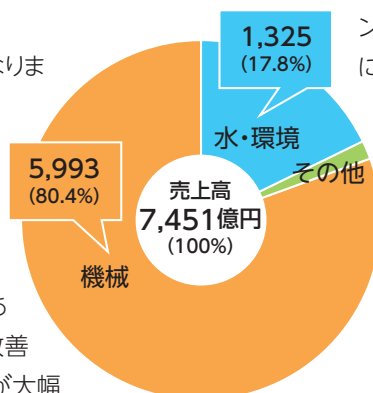
機 械	農業機械および農業関連製品、エンジン、建設機械等		
■ 売上高	5,993 億円	前 年 同期比	+ 2.0 %
■ セグメント利益	1,021 億円	前 年 同期比	- 0.8 %

国内売上高は、18.1%減の1,334億円となりました。農業機械は、前期の消費税率引き上げによる前倒し需要の反動などにより減少しましたが、建設機械、エンジンは、公共工事の増加や景気回復に伴う堅調な需要などに支えられ増加しました。

海外売上高は、9.8%増の4,659億円となりました。北米では、主力のトラクタが景気回復に伴う市場の拡大に加え、新製品の投入効果もあり増収となりました。住宅市場の回復などによる建設需要の高まりを受けて建設機械も大きく伸長し、エンジンも増加しました。欧州では、景気にばらつきはあるものの、英国経済が好調なことや、為替改善の効果もありトラクタ、建設機械、エンジンが大幅に伸張しました。アジアでは、主力市場であるタイ、中国で農業機械が低迷したほか、建設機械も中国での建設投資の減速の影響を受け減少したため、全体では減収となりました。



低騒音・低振動で快適に作業が行える
電動式ミニ耕うん機 ニューメディア菜レント



水・環境	パイプ関連製品（ダクタイル鉄管、合成管、ポンプ、バルブ等）、環境関連製品（各種環境プラント等）、社会インフラ関連製品（素形材、スパイラル鋼管、自動販売機、精密機器、空調機器等）		
■ 売上高	1,325 億円	前 年 同期比	+ 2.9 %
■ セグメント利益	71 億円	前 年 同期比	+ 6.7 %

国内売上高は、0.5%増の1,074億円となりました。パイプ関連製品は、バルブや合成管が増加しましたが、ダクタイル鉄管の減収により微減となりました。環境関連製品は、下水処理装置などの伸長により増収、社会インフラ関連製品も、スパイラル鋼管などの増加により微増となりました。

海外売上高は、14.5%増の251億円となりました。素形材が伸張したことにより社会インフラ関連製品が大幅な増収となり、パイプ関連製品、環境関連製品も増加しました。



災害復旧用
クボタ排水ポンプ車

そ の 他	各種サービス事業等		
■ 売上高	133 億円	前 年 同期比	+ 2.7 %
■ セグメント利益	11 億円	前 年 同期比	+ 5.3 %

トピックス

畑作用大型トラクタ、初披露

2014年9月24日～26日の日程で、フランスにおいて欧州のディーラーミーティングを開催しました。畑作市場に本格参入となる130～170馬力の大型トラクタ「M7001」(欧州)を初めて披露し、発表を待ちわびたディーラーから大いに注目を浴びました。2015年4月から量産を開始し、欧州・北米・豪州・日本を中心に展開していく予定です。今回の参入を契機に、事業をさらに拡大させ、世界的な食料問題の解決に貢献してまいります。



「下水道展 '14大阪」で下水道のみらいを提案

2014年7月22日～25日の日程で、下水道展が開催されました。クボタグループは、21世紀社会に求められる下水道の姿として、①安心のみらい ②効率のみらい ③持続のみらいの3つのみらいで構成される「クボタ下水道ビジョン」を提案しました。ブース内では、来場者と下水道のみらいについて活発な意見交換が行われ、クボタグループの提案に多くの共感をいただきました。また、デザイン等が評価されたことにより出展者表彰優秀賞も受賞しました。



欧米の排出ガス最終4次規制に対応するエンジンの適合認証を取得

当社は、欧州で2014年10月、米国で2015年1月より実施される排出ガス最終4次規制に対応する56～130kWのディーゼルエンジンの開発を完了し、適合認証を取得しました。今回、認証を取得したエンジンは、本年10月から順次量産を開始し、当社のトラクタ・建設機械に搭載されるほか、世界の大手建設機械・産業機械メーカーにOEM供給します。日本でも2015年10月より欧米と同等の規制となるため、当エンジンを投入していく予定です。



水冷ディーゼルエンジン
V3800-TIEF4

宮城県農業高校生徒が取り組む「SUN!SUN!そば」プロジェクトを支援

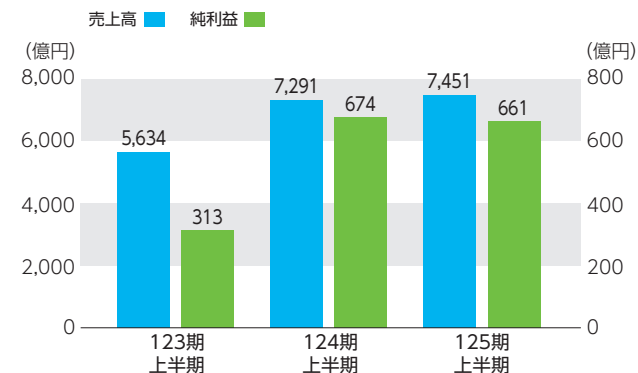
「SUN!SUN!そば」プロジェクトとは、宮城県農業高校 食品化学科の生徒たちが中心となり、仙台空港近くの被災農地に、白と赤の花を咲かせる蕎麦とヒマワリでハート型の地上絵を描き、復興のシンボルづくりとする取り組みです。クボタグループは、トラクタを使った農地の整備やイベント運営のお手伝いなどで、このプロジェクトを支援しています。本年7月に播種作業を実施し、9月には満開期を迎え、きれいなハート模様が浮かび上がりました。



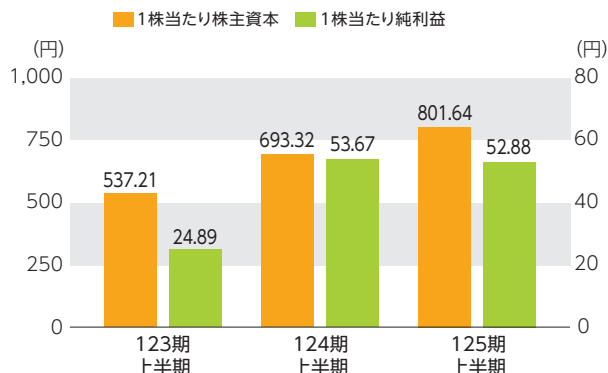
連結業績ハイライト

	123 期上半期	124 期上半期	125 期上半期
売上高	5,634 億円	7,291 億円	7,451 億円
純利益	313 億円	674 億円	661 億円
1株当たり株主資本	537.21 円	693.32 円	801.64 円
1株当たり純利益	24.89 円	53.67 円	52.88 円

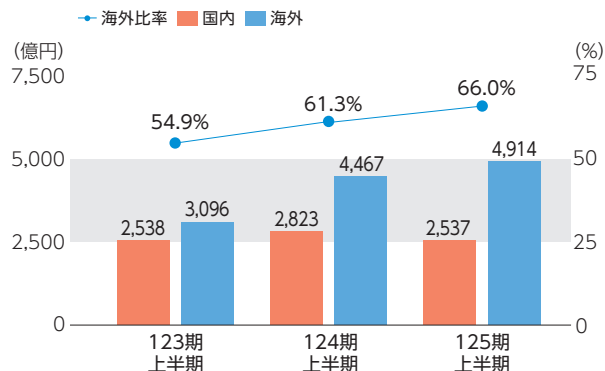
売上高・純利益



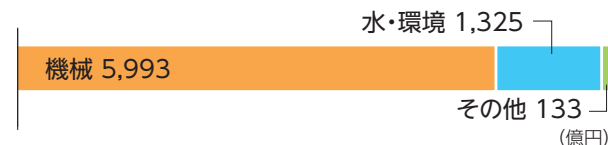
1株当たり株主資本・1株当たり純利益



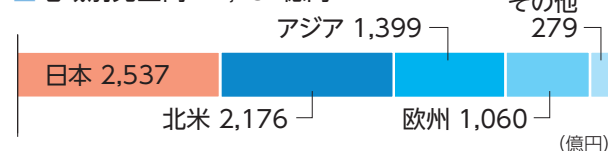
国内・海外別売上高



セグメント別売上高 7,451億円



地域別売上高 7,451億円



※1 124期より決算期が連結決算日と異なる一部の連結子会社等について、連結決算日に仮決算を行い連結する方法に変更しています。これに伴い、連結子会社等における決算期変更の影響を反映させるため、123期上半期実績を逆方向的に調整しています。 ※2 当期より「工事」はその他から水・環境に事業セグメントを変更しています。これに伴い、124期上半期実績を組替えています。 ※3 本頁の純利益は、米国会計基準における「当社株主に帰属する純利益」です。

役員・会社概要

(平成26年9月30日現在)

役員

取締役

代表取締役社長	木股昌俊
代表取締役副社長	久保俊
取締役専務執行役員	木村茂
取締役専務執行役員	小川謙四郎
取締役専務執行役員	北尾裕一
社外取締役	布野幸一
社外取締役	松田利讓

監査役

常勤監査役	坂本	悟和
常勤監査役	福山	敏政
社外監査役	河内	治哲
社外監査役	根岸	良
社外監査役	佐藤	二

執行役員

常務執行役員	飯田	聡	執行役員	小川	純司
常務執行役員	木村	雄二	執行役員	中田	裕雄
常務執行役員	佐々木	真弘	執行役員	吉川	正一
常務執行役員	松本	志雄	執行役員	木村	尋大
常務執行役員	諏訪	国利	執行役員	渡邊	晴孝
常務執行役員	黒澤	彦寛	執行役員	吉田	大行
常務執行役員	川上	一之	執行役員	庄村	孝夫
執行役員	伊藤	太義	執行役員	富山	裕成
執行役員	藤田	博	執行役員	下川	和之
執行役員	濱田		執行役員	内田	睦之
執行役員	窪田		執行役員	石井	成雄

会計監査人

有限責任監査法人 トーマツ

会社概要

社名	株式会社クボタ (KUBOTA CORPORATION)	本社	〒556-8601 大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号 tel (06)6648-2111 fax (06)6648-3862
創業年月	明治23年2月	東京本社	〒104-8307 東京都中央区京橋二丁目1番3号 京橋トラストタワー tel (03)3245-3111 fax (03)3245-3822
設立年月	昭和5年12月	ホームページ	http://www.kubota.co.jp/
資本金	84,070,280,304円		
発行済株数	1,250,219,180株		
株主数	36,177名		
従業員数	連結 35,006名(就業人員) 単独 10,734名(就業人員)		

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行(株) 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部 tel 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次窓口	三井住友信託銀行(株) 本店および全国各支店
公告方法	当社ホームページに掲載
上場証券取引所	東京証券取引所

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

配当金計算書について

配当金支払い時にお送りしている「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。
なお、配当金領収証にてお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封しています。